

ココナッツ市況

フィリピン産ココナッツは2013年11月の大型台風によって、原産地の一部が壊滅的な被害を受け、その後は徐々に回復してきているものの、台風前の生産量に戻るまでにさらに6～9年程かかるといわれており、2015年のココナッツの生産量は10%程度落ち込むと見られています。

一方で、バージンココナッツオイルやココナッツウォーター等、ココナッツ製品の美容・健康への効果が注目されており、世界的な需要の高まりにより原料需給が引き締まっていることから、原料ココナッツの価格が高騰しています。

特にデシケートココナッツにつきましては、価格メリットがあるインドネシアやスリランカ産の製品に移行していた一部のユーザーが、品質を重視しフィリピン産製品に回帰しつつあり、フィリピン産デシケートココナッツへの引き合いが強くなっています。

また、多くのデシケートココナッツの生産者がバージンココナッツオイルやココナッツクリーム等の高付加価値製品の製造にシフトまたは新規参入しつつある事も、需給状況に大きく影響しています。

今後もこうした世界的なココナッツ需要の伸長により、引き続き現地相場は高値維持となる事が予想されます。